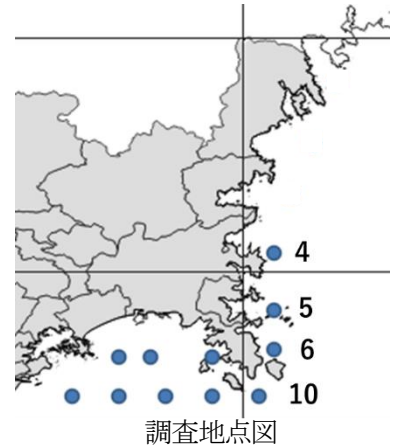


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.7)

令和7年3月14日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和7年3月10日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で8.3~8.6℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は確認されませんでした。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が0~10 細胞/L、*D. acuminata* は10~20 細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (℃)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				3月10日	2月17日	3月10日	2月17日	3月10日	2月17日	3月10日	備考
4	3月10日 13:25 84.3 m	17.0	8.6	0	-	0	-	10	-	0	
5	3月10日 12:43 40.3 m	15.0	8.5	0	0	0	0	0	0	0	
6	3月10日 11:33 66.9 m	10.0	8.3	0	0	10	0	20	0	0	
10	3月10日 10:41 84.6 m	13.0	8.3	0	0	0	0	0	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水